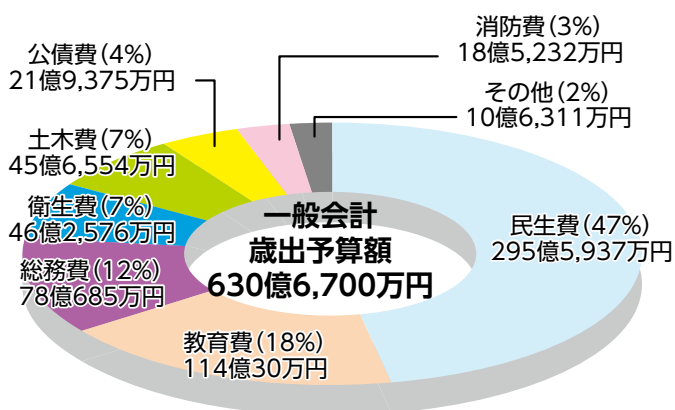


令和4年度 予算を可決

令和4年度の多摩市の予算(お金の使い方)について、予算決算特別委員会(議長を除く全員で構成)で審査を行い、一般会計、3特別会計、下水道事業会計の予算案を原案のとおり可決すべきものとなりました。

令和4年度 歳出款別 予算額



令和4年度 一般会計・特別会計 予算額(前年度比増減)

一般会計	予算額	前年度比増減
一般会計	630億6,700万円	(0.1%)
特別会計		
国民健康保険	153億8,294万円	(3.1%)
介護保険	117億8,266万円	(2.3%)
後期高齢者医療	43億3,044万円	(8.6%)
合計	945億6,304万円	(1.2%)

令和4年度 下水道事業会計 予算額(前年度比増減)

	収入	支出
収益的収支	33億6,871万円 (▲0.5%)	30億8,340万円 (▲0.1%)
資本的収支	1億2,014万円 (78.9%)	3億7,975万円 (14.9%)

※各会計で千円単位を四捨五入し、端数調整しています。

予算審査ではこんな話題がありました…

「コロナ」で困っている市民を支援

コロナ対策の臨時交付金について質問がありました。「自治体の裁量で幅広く使える交付金である」との答弁がありました。議会の側からは「当初予算には直接的な生活支援策が少ない。市民の声によく耳を傾け、市民ニーズに則した使い方をしてほしい」という要望が出されました。

(国庫支出金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

平和の尊さを発信し続けていこう

被爆者の手がける新種のバラ寄贈について質問がありました。コロナ禍の影響で広島・長崎への派遣事業は中止となっていますが、新年度は状況を見ながら募集予定であること、OB・OGでも応募可能であることなどの説明がありました。子どもたちに参加してもらい、草の根の活動を進めることが大切であるという認識を共有しました。

(総務費 平和啓発事業)

多様性を認める社会づくりを

「女性センター」という名称は施設利用が限定的であるかのような印象を与えるので、考え直してはどうかという提案がある一方、いまだ性差別が残る社会では、女性センターであることの意義は重いという意見もありました。2月に始まったパートナーシップ制度の推進、防災計画に女性が参画することの重要性などが話題になりました。

(総務費 TAMA女性センター運営経費)

病気に苦しむ子どもを支える

既存の地域で病児等を受け入れていた施設がなくなったことに関し、市は「既存地域1カ所・ニュータウン地域1カ所」の配置が望ましいとし、今後は児童を駅まで送迎する一方、新たに事業者を探す方針も確認しました。また送迎には人手等の準備が必要であること、保護者への配慮も考えていくことなどが、質疑によって明らかとなりました。

(民生費 病児・病後児保育事業)